



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8親和ビル4階 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130

ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回
 Eメール 編集室...kaiho@nalc.jp 10日発行

地方ブロック・府県単位に拠点連絡会議

西中国地域 北関東地域 でまず旗揚げ

新事業計画 実行に向け始動 活動交流や社会貢献の共同展開

5月の総会で決まった新しい事業計画の1つには、「拠点連絡会議を自主的につくる」ことが盛り込まれている。狙いは拠点間の交流を定期的に行い、情報交換を行って刺激し合いながら、拠点活動を高めていくというものである。この会議には要請があれば本部から役員も出席することになっている。

7月23日、その先鞭を切って西中国地域で、また8月1日には北関東地域で「拠点連絡会議」が始めて開催された。すでに都道府県段階や、府県レベルを超えた地方ブロック毎に拠点交流会を適宜開いている所がいくつか見られるが、新事業計画に基づいて正式な「連絡会議」に衣替えしていくと思われる。

【西中国地域・拠点連絡会議】 相互に活動を確認し合い

西中国地域の拠点連絡会議は、7月23日益田市で開かれた。

この日はちょうど益田の運営委員会に当たっていた。設立して日の浅い益田(本年4月設立)にとお互いに活動状況を報告し、悩みを述べあった。ごし、次回は来年2月「利用者からの依頼の中」には断りたい案件もあるが人間関係を考える「萩」で開催と、決定した。同席した本部西村順子理事は「設立直後の益田が思いの外動いており、他の拠点も刺激を受けたと思う。次回には具体的な協働も出てくるのではないかと述べている。

【北関東地域拠点連絡会議】 足尾の植樹も地域協働で

北関東地域の拠点連絡会議は、8月1日午後2時から宇都宮市内のホテルで開催された。

群馬県から「群馬二利根沼田」、栃木県から「栃木二なすの」「小山」の5拠点が、はじめて一堂に会した(足利は欠席)。

それぞれの拠点の活動報告があつて、今後の地域協働が模索されたが、熱心な議論は懇親会の席上まで及んだ。

その中で出てきた話に「足尾銅山跡地の植樹問題があった。

足尾銅山は製錬所から出る煙害で、山から緑が失われる被害を蒙って久しいが、昭和48年に閉山に追い込まれた後、地域はさらに荒廃の一途をたどっていた。



足尾の植樹に励むナルクの仲間

ところが平成8年に「足尾に緑を育てる会」が誕生し、ナルク栃木も



会員の手で集められたアルミ缶の山

組むには余りにも大きな作業であるし、これを北関東全体で取り組んでは、というのが副代表の野口義明氏の意見である。

「いやむしろナルク全体で取り組むに値する活動だと思っています。ナルクは熊野にも木を植えましたし、今度の15周年では高齢者施設の植樹を計画しているようなので、この足尾の植樹を全ナルクで取り組めば、世間に大きくアピールできると思います」と、野口氏は熱く語る。

さらに栃木拠点で実施している「アルミ缶の回収も、地域の協働作業として候補に挙がった。

出走事務局長は「アルミ缶は1つ1つつぶさなければなりませんので大変手間がかかりますが、この8年間で可成りの実績をあげ、省資源化にも貢献してきました」と語っている。

訳ではない。近隣の拠点と共同展開することも選択肢の1つであろう。

群馬の2拠点からは「中仙道沿線拠点」ということもあり、15周年記念行事にも話が及んだ。

埼玉西が笹森清さんを中心に行っている「ペットボトルのキャップ集め」に参加し、ウォーク隊にキャップを届ける運動を展開してはどうか、などのアイデアも飛び出した。

この地域での共通の活動には、移送の問題がある。この問題の今後についても熱心な意見が交わされた。

最後に栃木の小林正治代表が「今日は大変有意義な意見交換ができました。来年以降も続けて連絡会をもつようにして、具体的な成果を挙げていきましょう」と挨拶し、会を締めくくった。

【九州・千葉・南大阪などの交流会は】 正式な拠点連絡会議へ

九州地区は毎年7月に本部主催の「事務局長会議」と併せて「交流会」を持ち回りで行ってきたが、今年から本部の方針通り「拠点連絡会議」と名称を変え、実施する方向を確認した。

今年7月11日、別府市で開催され福岡、北九州、鹿児島、宮崎、筑豊に加え、新たに設立された行橋、長崎の代表・副代表・事務局長ら3役、さらに主催拠点の大部分は若干の運営員も加わり計26名が参加した。

拠点活動の報告、成功事例の紹介など熱心な意見交換が行われたが、話題になったのは「時間預託活動」と「活動資金の確保」の難しさであった。

千葉県の場合は、拠点の分離独立などで古くから拠点交流が進んでいたが、最近では調査センター問題での交流も活発である。

南大阪地区は堺、大阪狭山、河内長野、千早赤阪、泉州、富田林に和歌山も加わり、定期的な交流会をもっている。

また四国4拠点は回り持ちで研修会を開き、これも交流が盛んである。

そのほか福井、富山、石川、岐阜、茨城、神奈川、長野、埼玉など不定期な交流を行っている所は数多くある。

これらの交流会は、今後正式に「拠点連絡会議」として運営されることが期待されている。



九州地区連絡会に集まった皆さん

喜々快々

高齢化のスピードは日本が世界一、といわれてきたが、台湾がその記録を更新すると言われているので、介護保険の導入が検討され「元気で呆けない高齢者づくり」と「ボランティアの奨励」に力を入れていく。日本からナルクの代表を招いて「時間預託の仕組みと実態」を学ぶセミナーを開いたり、台湾全土に46の拠点を有して高齢者支援のボランティア活動を行っている「中華民国弘道志士協会」との交流をセッとしたのもその一助である。

この協会の本部を訪れたら、84歳の頼さんが濃いオレンジ色のポロシャツを着て出迎えてくれた。胸に「挑戦八十・超越千里」、背には「不老騎士」の白文字が入っている。頼さんが団長になり、80歳以上の老人が2週間かけバイクによる台湾一周(千里・4000km)を行ったとのこと。企画をした林依事務局長が「ヒントはナルクが10周年記念で行った東海道1カ月600km完歩ニュースでした」と明かしてくれた。地球温暖化防止と元気な高齢者づくりのためには歩いた方がよいのだが...。(高畑敬一)

15周年記念式典と各種行事

京都府会館で

5月25日と決定

各行事に全拠点の参加を呼びかけ

「ナルク創立15周年記念式典ならびに行事」は、全国代表者会議... 25日午前・会議場... 正会員と拠点代表が対象...

ナルク活動事例発表

これを受けて本部では、各行事の概略を発表すると同時に、全国の拠点に向けて参加を呼びかける第1回のアンケートを送付した。

芸能フェスティバル

各行事の詳細は、今後このアンケートの調査結果を基に「企画実行委員会」で決定されるが、概略は次の通りである。



宝塚拠点によるフラダンス(08年1月)

レディースパーティー

25日18時〜20時 女性会員の企画・運営による立食パーティー。場所：都ホテル(徒歩数分) 会費：5000円(予定)

中仙道69次エコ&ふれあいウォーク

4月20日(出発予定) 東京日本橋から京都三条まで中仙道533kmを30日余りかけて徒歩で踏破、記念式典前日に到着の予定。

地球温暖化防止 行動アイデアを全国の拠点から募集

環境保全、省資源化、CO2排出削減などが叫ばれている今日、これに呼応する行動を、15周年記念行事の一環として実施する。そのアイデアを拠点から募集することとしたので、各拠点は積極的に応募いただきたい。

その他の行事

25日当日は、会館ロビーで「拠点紹介パネル展」地元産品バザーを実施する。また拠点のホームページや会報のコンクールを行い、優秀作品は舞台上で表彰しロビーにも展示する。

女性の視点



ナルク、そして

次世代へ残したいもの

西村美津子(鳥取)

何を隠そう、私は全くの無能ものである。そんな私が、「鳥取にもナルクの拠点を作ろう」と立ち上がったのだから無謀この上ないことだった。無能に加えて、奇人変人の類に加えられる。例えば、ついでにこの間まで、「テレビは諸悪の根源」と言ってはばからなかった。今でも携帯なんか大嫌い!「パソコンなんかできなない」。奇人・変人大いに結構と開き直っているのだから始末に悪い。

おかげ様で、今日までは並の健康と安寧を享受させてもらったが、これからはそうはいかないのは分かっている。金力・体力・気力は年々先細りするばかり。「それでは」という訳で、最後の気力を振り絞り拠点設



「読み聞かせ活動」を行っている著者

立に立ち上った次第である。ナルクの仲間と手を携える準備も完了した。まずは自分の老後は一安心である。

次に、形にして次世代へ繋ぎたい夢が2つある。1つは食の安全である。「食の安全神話」は今や軒並み総崩れ、いつが終わりという保証もない。

「顔の見えるナルクの会員が生産する食品を、顔の見えるナルクの会員が消費する」という食品安定供給のシステムをぜひ

ひ作りたいのだ。生まれればかりの孫世代が、大人になったときまだ「食の安全」で大騒ぎしているのかと思うと顔向けできない。ささやかな自衛手段を講じるのが、私たちの責任であろう。もう一つは「本の山をなんとかしたい」ということ。

個人的には、私は「狂」のつくほどの「本好き」である。多分老後も本に囲まれて至福の時を過ごすことになるはずだ。

しかしこの可愛い本たちも、散逸してしまえばただのゴミ。これをゴミにせず、に陽の目を見させる方法はないかと考えている。映像は直ぐに消えるが、活字はいつまでも残る。人の目に触れられることを待っているとも言える。私はその手助けをしたいのだ。以上2つの夢が叶いますように。

最後に私の好きな言葉。「夜を歩み通すときの助けになるものは、橋でも翼でもない。友の足音だ」思想家・ベンジャミン(一)

利得

日本力の喪失 ①大地の力が痩せていく

今月から「失われていく日本力」について考えてみます。確かに便利で効率的な世の中になりました。しかし反面、失ったものも大きいようです。博報堂の「日本の喪失5大力」から、第1回は「大地の力が痩せていく」です。(白石勝也)

①食料自給率の低下

日本の大地は、日々休むことなく私たちの生活を養い、気候は確実に変わりつつあり守ってくれています。そんな大地の力が急速に痩せてきています。

②平均気温は急激に上昇

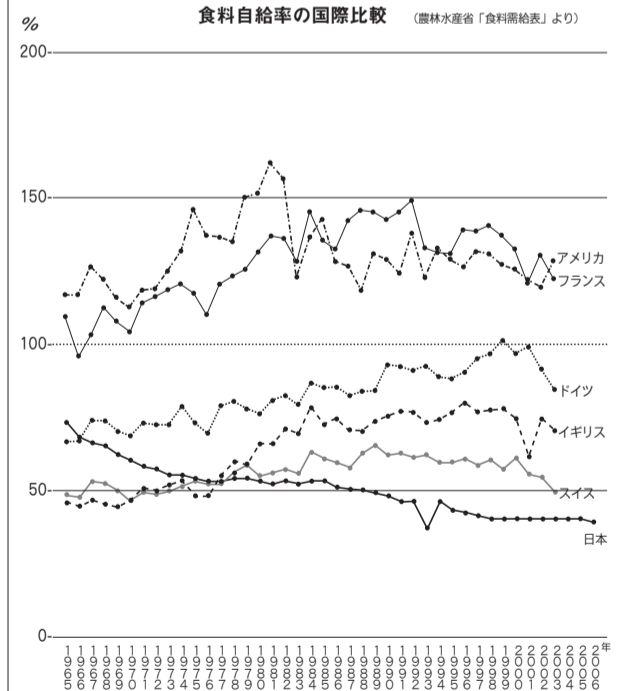
地球温暖化により日本の平均気温は確実に上昇しています。平均気温は1990年以降、急速なペースで上昇してきています。日本全体で63人しかなかったものが、2006年には322人と5倍にも増えています。日本の大地は民を風雨から守る力が次第に弱まっています。



「食糧自給の日」制定...

③生活環境の悪化

ダイオキシン、アスベスト、騒音、振動、悪臭、産業廃棄物、生活ゴミ、水質汚染、地盤沈下といった生活環境の悪化も深刻です。私たちの身の回りには危険が溢れています。



(注1)畜産物については、飼料自給率を考慮して算出。また、アルコール類は含まない。(注2)2006年の日本のデータは、概算。(注3)ドイツについては、統合前の東西ドイツを合わせた数値。

福祉調査センターだより

福祉現場の人材不足は深刻

介護保険制度の問題点として必要なサービスが受けられない」という声は少なくありません。ところが介護給付費の国庫負担は06年度で約1400億円、07年度では約900億円の赤字となっていて、これが分かります(医療介護CGニューズより)。都道府県レベルでも富山県では06年度で約26億円、07年度では約48億円の連続赤字となっています(読売新聞)。

金引き上げが可能ではないか、など色々考えさせられます。一方、福祉現場の人材不足は全国共通の悩ですが、特に都市部で深刻です。下の表は東京都の公共職業安定所に於ける有効求人倍率ですが、平成19年度を見ても全業種が1.19倍であるのに対し、福祉は3.24と、この5年間で一気に5倍に近づいています(中央福祉人材センター調べ)。

	平成15年	16年	17年	19年	20年
福祉	0.62	1.31	2.7	3.38	3.24
全業種	0.77	1.09	1.32	1.34	1.19

福祉士が日本にやって来ましたが、今後、日本の各施設で彼らの姿を見ることになるのではないかと、福祉現場は外国人に頼らなければならぬと、ここまできているのです。

「お知らせ」
栃木福祉調査センター
 福祉サービス第3者評価申請
 (7月31日)
埼玉福祉調査センター
 設立「福祉サービス第3者評価申請(8月6日)中央福祉調査センター会議」
 於本部会議室
 (10月15日13時)
福祉調査センター
 事務局長 青木富子

四川省大地震

中国帰国者がナルクの会員と共に

松本駅前街頭募金

先の四川省大地震は「信州まつもとだいら」の中国残留孤児の皆さんにとっても、大きな痛みとなっていることは想像に難くない。

帰国者の一人石坂万寿美さんは「テレビで現地の映像が流れる度、涙を抑えることができません。60数年前、私たちは戦争で孤児になりましたが、中国の方々に救われました。今度は私たちがお返しをする番だと思っています。今回の地震で孤児になっ



街頭募金をする帰国者の方々

た4000人以上の子供のために、学校を再建するお手伝いをしたいと思っただけですが、どうしたらいいでしょうか」と、拠点役員に思いのたけを打ち明けた。

相談を受けた「信州まつもとだいら」の運営委員会は松本駅前一緒に街頭募金をすることを提案した。

- 生涯学習センター
 ニューズ
- ① J&B コーラス 第2・4金曜13時 産業創造館15F 広部075-7124012
 - ② 劇団ナルク 第2・4金曜15時 本部3F会議室 担当/茶谷 090-5970-2279
 - ③ 司馬「街道を行く」 近江商人のルーツ 湖東 日野散策 藤岡06-6876-1632 ④ 千翠 毎月第2・4火曜 17時30分 本部3F会議室 担当/青木 090-4292-7171

募金を始めると彼らの不安は一掃された。「つたない日本語で呼びかけたのですが、多くの人が協力してくださり、胸が熱くなりました。私たちは中国への恩返しつもりでしたが、ナルクの皆さんの熱意、日本の方々の善意に、はた下がるばかりです」と祖国日本に対する感謝もひとしおのようだった。

拠点リレー訪問 42

びわこ湖南訪問記

ぺったんこ名札で

地域デビュー

東海道線「南草津駅」からバスで約10分、中田匡美代表のお宅が拠点事務所です。

私が訪れたときは、40人余りの親子が賑やかに集っていました。お母さんたちは子どもたちには目をくれない、親同士のおしゃべりならぬ情報交換に夢中です。



ユニークな「ぺったんこ名札」

「子育て支援」です。公共施設2カ所を借りて毎週火曜と木曜に「ふあふあ広場」を開催しています。2000円の会費を払えば、市民の誰もが参加できます。

私が訪れたときは、40人余りの親子が賑やかに集っていました。お母さんたちは子どもたちには目をくれない、親同士のおしゃべりならぬ情報交換の場を目指して名付けられました。

親が自由な時間を持つのは、「ぺったんこ名札」のおかげです。背中に張られた名札には、女の子は赤で、男の子は黒で、生年月日と名前が書いてあるだけです。お母さん同士の会話と情報交換の糸口となっています。皆が情報を共有することにより、参加者同士の信頼感と一体感が生ま

「子育て支援」です。公共施設2カ所を借りて毎週火曜と木曜に「ふあふあ広場」を開催しています。2000円の会費を払えば、市民の誰もが参加できます。

親が自由な時間を持つのは、「ぺったんこ名札」のおかげです。背中に張られた名札には、女の子は赤で、男の子は黒で、生年月日と名前が書いてあるだけです。お母さん同士の会話と情報交換の糸口となっています。皆が情報を共有することにより、参加者同士の信頼感と一体感が生ま

親が自由な時間を持つのは、「ぺったんこ名札」のおかげです。背中に張られた名札には、女の子は赤で、男の子は黒で、生年月日と名前が書いてあるだけです。お母さん同士の会話と情報交換の糸口となっています。皆が情報を共有することにより、参加者同士の信頼感と一体感が生ま

介護保険制度の問題点として必要なサービスが受けられない」という声は少なくありません。ところが介護給付費の国庫負担は06年度で約1400億円、07年度では約900億円の赤字となっていて、これが分かります(医療介護CGニューズより)。



40人の親子が集う「ふわふわ広場」

「子育て支援」です。公共施設2カ所を借りて毎週火曜と木曜に「ふあふあ広場」を開催しています。2000円の会費を払えば、市民の誰もが参加できます。

親が自由な時間を持つのは、「ぺったんこ名札」のおかげです。背中に張られた名札には、女の子は赤で、男の子は黒で、生年月日と名前が書いてあるだけです。お母さん同士の会話と情報交換の糸口となっています。皆が情報を共有することにより、参加者同士の信頼感と一体感が生ま

親が自由な時間を持つのは、「ぺったんこ名札」のおかげです。背中に張られた名札には、女の子は赤で、男の子は黒で、生年月日と名前が書いてあるだけです。お母さん同士の会話と情報交換の糸口となっています。皆が情報を共有することにより、参加者同士の信頼感と一体感が生ま

復習

こんにちは運動

「こんにちは運動」とは、大阪府の場合、ナルクの外部評価調査員が訪問調査をしたグループホームを調査終了後に、地元ナルク拠点に調査のお礼方々訪問してもらって、ナルクと事業所との関係をさらに強化しようというものです。

調査員から見た気持ちや、市民に伝えることにもあります。調査結果はインターネット(WAMNET)に公表され、これから利用しようとする高齢者がホームを選択する目安となります。

「こんにちは運動」でグループホームと交流の例としては、散歩介助、ケアメイク、ハンドマッサージ、楽器演奏、話し相手などがあります。今後さらに地域でのナルク活動のポイントにしなければなりません。

「こんにちは運動」でグループホームと交流の例としては、散歩介助、ケアメイク、ハンドマッサージ、楽器演奏、話し相手などがあります。今後さらに地域でのナルク活動のポイントにしなければなりません。

「こんにちは運動」でグループホームと交流の例としては、散歩介助、ケアメイク、ハンドマッサージ、楽器演奏、話し相手などがあります。今後さらに地域でのナルク活動のポイントにしなければなりません。

お勧めの書籍

「恋するようにボランティアを」

著者の大熊由紀子氏は、元朝日新聞記者。大阪大学などで福祉・医療の講座をもつ傍ら、評論家としても活躍。ボランティアの本質を突き、その琴線にも触れた本書は会員必読の1冊。1600円(刊・ぶどう社)

シニアケアメイク

インストラクター講習会 於本部 10月10日(金) 安藤:06-6941-5448

H♡W縁結び

秋は出会いのとき良縁多数ありお待ちしております。 安藤:06-6941-5448

第14回NALC会長杯

日時/10月10日(金)

8時40分集合9時12分スタート

場所/比良ゴルフクラブ 湖西道路「真野IC」でおり3分 下520-02 大津市小野1611 TEL 077-573-1100

費用/11000円(昼食・パーティ込み) 70歳以上利用税免除(免許証等要証明) 申し込み/9月20日までにFAXで左記へ びわこ湖西拠点077-594-0888

第7回NALC会長杯

日時/10月16日(木)

8時集合 8時32分スタート

場所/パークレイ・カントリークラブ 栃木県日光市長畑4172 TEL 02888-2711800

費用/58000円(セルフアレー・昼食付き) 会費千円 65歳以上特別税率要証明) 申込み/10月8日までにFAXまたはTELで左記へ 0288-648-8665 吉川孝人 前泊ロッジ手配します(朝食付4200円)

ホームページ作成者募集

本部ホームページの作成更新を担当していただける方を募集します。ホームページの経験のある方で月1から2回。本部へ打ち合わせに来ることが可能な方。実作業は自宅にて可。 連絡先/本部事務局 桜木まで。

